

第10回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

1. 開催日時・場所

令和5年8月4日（金） 9：30～11：50
JR 東海品川ビル会議室

2. 出席者

委員：立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員 小山 幸則（部会長）ほか7名
（※WEB参加2名含む）（1名欠席）

3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

4. 議事概要

（1）第一首都圏トンネル新設（北品川工区）の調査掘進再開後の状況

第一首都圏トンネル新設（北品川工区）について、調査掘進を再開したシールドマシンは、周辺の施設に影響を与えることなく、段取り替えの実施地点まで掘り進んだ。また、曲線区間での掘進が続くなかで、セグメントが組み立てにくくなる傾向が現れてきたため、段取り替えに併せてセグメントとシールドマシンの点検を実施している旨を、事務局から説明を行った。

委員からは、セグメントが組み立てにくくなった原因を把握したうえ、必要な対策を講じ、今後の掘進に向けてシールドマシンの状態を整えるよう助言があった。

（2）第一中京圏トンネル新設（坂下西工区）調査掘進に向けた作業の状況

第一中京圏トンネル新設（坂下西工区）においては、摩耗したカッタービットを交換し、慎重に仮壁の切削を進めている状況について、事務局から説明を行った。

委員からは、引き続き慎重に作業を実施していくよう助言があった。

（3）その他の工区の状況

第一首都圏トンネル新設（梶ヶ谷工区）及び第一首都圏トンネル新設（東百合丘工区）について、データを取得しながら慎重に調査掘進を進めている状況を、第一首都圏トンネル新設（小野路工区）においては、仮壁切削を終え、調査掘進を開始した旨を、事務局から説明した。

委員からは、調査掘進が安全かつ確実に進むよう、適切に状況を把握し対処しながら、引き続き慎重に作業を実施していくよう助言があった。